

# 宇宙への夢乗せロケット飛んだ

摂津市千里丘東の市立三宅小学校でこのほど、モデルロケットの打ち上げ実験が行われた。児童のカウントダウンで発射されたロケットは、勢いよく上空約50メートルまで上昇。見守っていた児童たちの間からは大歓声が上がった。宇宙への夢をふくらませていた。

摂津の小学校



児童たちが見守るなか、打ち上げられたモデルロケット。大きな歓声がわいた。市立三宅小学校

## 「実験」成功 児童ら大歓声

モデルロケットは米国

製で、宇宙科学教育用に開発された。機体は紙とプラスチック、木だけで、推進力は火薬で得る。全長約30センチで高度100メートルまで飛ぶ入門機から、全長6メートル、時速900キロで上空2000メートルまで上がる本格的なロケットまである。日本モデルロケット協会によると、世界の宇宙飛行士のほとんどがこの教材で教育を受けた経験があるとい

う。三宅小で打ち上げを行ったのは、私立星翔高校(同市三島)の教員ら。同校では、昨年の文化祭でも打ち上げを行い、来年度から工業科でモデルロケットを教材に使った授業を行う予定。そんな取り組みを知った三宅小が「モノ作りの楽しさ」や「宇宙へのロマン」を子供に伝えてほしいと打ち上げを依頼した。打ち上げ前には、6年

生21人が、ロケットの歴史やモデルロケットの仕組みなどについての授業を受けた。その後、「打ち上げ実験」が行われ、全校児童約150人が見守る中、長さ約30センチの「アルファ3型」などが計6回打ち上げられた。ロケットは発射後約2秒で、パラシュートが開き、静かに落下。白煙を上げてロケットが上昇するたびに「すごい！」と大歓声。発射実験を見守っていた児童は「こんなに小さいロケットがあれほど高く飛ぶなんて驚いた」と興奮したようすを話した。